

17 古文3 内容を読み取る

組	
番号	
氏名	

1 次の文章を読んで、問い合わせに答えなさい。

〔平成十九年 宮城県公立高校入試問題〕

①人の心は、水の入れものにふうがごとし。ほういう入れもの細ければ、すなわち細し。まろければ、すなわちまろくなる。心は朋友にならふ。いかが選ばざるべけん。

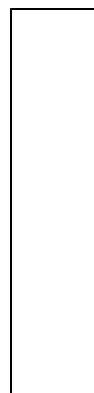
※いかが選ばざるべけん。：どうして選ばないでいられようか。

（「十訓抄」による）

①右の文章中に「①人の心は、水の入れものにふうがごとし。」とあります。次の一文は、このことを説明したものですが。（a）、（b）の問い合わせに答えなさい。

水は入れものによつてその形が決まる。この水と入れものとの関係は、人の心と との関係にあてはめることができる。

(a) にあてはまる言葉を、文章中からそのまま抜き出
して答えなさい。



(b) 「人の心」が「水」にたとえられるのはなぜですか。「人の心は、水と同じように」という言葉に続けて、その理由を、三十字以内で説明しなさい。



②

右の文章から読み取れる筆者の考え方として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一生のうちで、心を通わせられる真の友人にめぐり会うことはまれである。
イ すぐれた友人を見習って、自分の行いを改めるよう心がけたいものである。
ウ 友人は多ければ多いほどいざというときに頼りになり、心強いものである。
エ 互いの成長には、よい影響を与え合うような友人を見つけたいものである。

